

本校のオリンピック・パラリンピック教育（概要版）

○本校のオリンピック・パラリンピック教育で育成したい幼児・児童・生徒の姿

スポーツに親しみ、多様性を尊重する児童
考える子……………オリンピック、パラリンピックの精神や日本・世界各国の文化について主体的に学ぶ児童。環境問題や環境保護の必要性について理解し、環境にやさしい行動を自ら行う児童。
思いやりのある子…スポーツ選手やオリンピック・パラリンピアンと交流することを通して、夢に向かって主体的に生きるよさや、苦難を克服するよさに気づく児童。障害をもつ人、外国人との交流を通して、多様性を尊重し、共に力を合わせて生活することができる児童。他者を思いやる心を持ち、心のバリアフリーを実践するとともに、施設や設備のバリアフリーに協力して社会に貢献する児童。日本や他国の伝統や文化を知る活動を通して、自国を愛し、他国を尊重することができる児童。
元気な子……………様々なスポーツとその魅力を学び、自ら取り組む児童。体力の向上、健康の保持増進の大切さを理解し、運動や健康づくりに自ら取り組む児童。



○主な実践

アスリート等を招いて

- ・シドニー、アテネ、北京、ロンドンのパラリンピックに4大会連続出場し、広州アジアパラリンピックでは金メダルを獲得した、車椅子バスケットボール選手の京谷和幸様にお越しいただき、「夢☆未来プロジェクト」を実施した。そのほかにも、「あすチャレ」「交流教室 パラリンピアンがやってきた」「スポ育」を活用して、オリンピック・パラリンピアンとの交流やスポーツ体験の場を設けた。平成29年度は4年生が車いすバスケットボール、平成30年度は3年生が車いすバスケットボール、4年生がブラインドサッカーの体験を実施した。平成31年度は、3年生がシッティングバレーボールの体験を予定している。
- ・中野区にある企業や本校の学区にある町会の方と連携し、サッカー日本代表、吉田麻耶選手、武藤嘉紀選手、森重真人選手がお越しいただく機械を得た。子どものころから健康に留意することの大切さ、水分補給の重要性について子どもたちにお話しいただくとともに、6年生全員とサッカーミニゲームを行っていただいた。子どもたちは、世界の舞台上で活躍するスペシャリストの技に魅せられ、サッカーが上手になることや将来サッカー選手になることへの夢をもつことができた。

体力向上の取組

運動量を高める取組

- 「中休みの全校遊び（20分間）」  
中休みは、全校児童が校庭に出て体を動かすことができるように時間を確保している。
- 「週1回の朝遊びの時間の確保（15分間）」  
1～3年生は木曜日、4～6年生は金曜日と分けて、校庭を広く使って遊ぶことができるようにしている。
- 「土曜公開日の朝遊び（15分間）」  
PTAおやじの会と協力を得て、土曜公開日の始業前に校庭で子どもたちが遊ぶ時間を確保している。

「体力向上月間」

楽しみながら体力向上及び意欲的に運動する態度の育成

- ★6月の休み時間（中休み・昼休み）：「桃二SASUKE」  
（体育館で6つのコーナーを設置し目標を決めて、挑戦する。  
①肋木ぶら下がり ②反復横跳び ③上体起こし ④紙ボール投げ ⑤長座体前屈 ⑥立ち幅跳び）
- ★10月の中休み：「長縄旬間」学級で目標数を決めて5分間で何回跳べるか挑戦する。  
最終日に「長縄大会」を行う。
- ★12月の中休み：「短縄旬間」個人でなわとびカードの検定に合格できるように挑戦する。
- ★2月の中休み：「持久走月間」4分間走に挑戦し、持久走カードに色塗りをする。  
最終日に「ももにんピック冬」として、持久走記録会を行う。

世界の国々や日本の文化を理解する

「世界友達プロジェクト」

- 青年海外協力隊で「ベリーズ」に滞在していた方から、ベリーズの国の文化について教えていただいたり、現地で実際に使われていた物を見せていただいたりした。服を試着させていただいたり、楽器やお金を触らせてもらったりして、日本と比べながら異文化を学んだ。
- 「邦楽鑑賞・体験教室」「琴体験教室」「生花体験教室」「エイサー体験（中野チャンプルーフiesta出演）」  
日本の伝統・文化を見たり聞いたり体験したりして、よさを学び、世界の国々の人に日本や地域の文化、魅力を発信できるようになる。

平和で誰もが共生できる社会をめざして

平成29年度に、人権尊重推進校で「互いに認め合い、自分も人も大切に作る子」の研究発表を行った。4年生は障害者理解、5年生は高齢者理解、6年生は国際理解を総合的な学習の時間で行っている。児童同士で話や意見を共感的に聞いたり、認めたりすることを重点にした授業を行ったり、教師が声掛けをしたりすることで、自他共に認めることができる児童が増えた。



○来年度（オリンピック・パラリンピックイヤー）への思い

スポーツに親しみ、多様性を尊重する児童の実現
考える子……………実際に競技場に行ったりテレビで観たりして、実際にオリンピック・パラリンピックを観戦し、オリンピック、パラリンピックの精神や日本・世界各国の文化について主体的に学ぶことの楽しさを実感してほしい。オリンピック・パラリンピックにおける環境やさしい取組に触れ、自ら実践してほしい。総合的な学習の時間や特別授業において理解した地域や日本の魅力を、外国語活動の時間に身につけた英語を用いて、日本に来た外国の方や東京に来た他の道府県の方々に発信してほしい。
思いやりのある子…障害をもつ方、外国の方などに対して、積極的にコミュニケーションをとり、共にオリンピックを楽しんでほしい。バリアフリーの大切さを意識し、障害をもつ方に対して自らコミュニケーションをとり、必要な支援を聞いて手を差し伸べてほしい。世界各国の文化を知った上で、日本の魅力、日本のよさを感じ、日本や自分が住む地域を愛する心をもってほしい。
元気な子……………様々なスポーツとその魅力を知り、体力の向上、健康の保持増進の大切さを理解し、運動や健康づくりに自ら取り組んでほしい。